



高知盲新聞



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721
mo-s@kochinet.ed.jp

新年のご挨拶

校長 宮地 暁男

新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、そして地域の皆様には、盲学校の子どもたち、生徒たちを温かく見守っていただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は盲学校の卒業生の頑張り（平成29年12月7日朝刊）や高等部普通科の生徒たちが、『高校生津波サミット』において、視覚障害者の困り感について聞き取り調査したことや災害時の手引きの仕方などの援助について発表した内容が大きく報道され（平成29年12月17日朝刊）、多くの県民の皆様には評価をいただきました。有り難く存じます。

これまで盲学校は、地域の皆様はじめ、県民の皆様から開かれていない印象を持たれていたと存じますが、今後はこれまでに増して、盲学校から地域の皆様に、防災避難訓練や文化祭、運動会などの学校行事をお知らせさせていただきます。また、城西中学校が一般避難所としての実的な機能を備えた態勢を急ピッチで整えています。その取組にお習いして、盲学校も高齢の皆様や障害のある方、妊婦さん等が安心して避難できる『福祉避難所』として、指定を受ける準備を進めております。

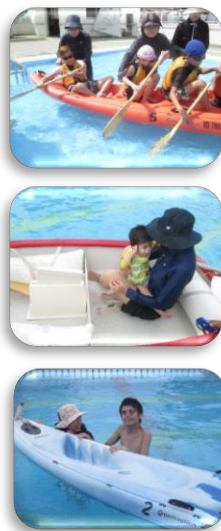
盲学校は来年1月に創立90周年を迎えます。今後も保護者の皆様、地域の皆様のご支援をいただきながら、県内唯一の視覚障害教育を充実させていきたいと願っています。どうか、今後ともよろしくお願い申し上げます。

シーカヤックにチャレンジ！

昨年に引き続き、9月6日（水）に本校のプールでシーカヤックの体験を行いました。

当日は、「YASU海の駅クラブ」さんにカヤックの操作等を丁寧にご指導いただき、子供たちのみでカヤックに乗ることができました。

普段はなかなか体験できるものではなく、楽しい一時を過ごしました。



プロの歌声・演奏に感動！

9月7日（木）にフコク生命保険相互会社さんが社会貢献の一環として、毎年全国各地で実施されている訪問コンサートを本校で実施していただき、プロの音楽家による「本物のクラシック」を聴き、児童生徒、教職員ともに感動しました。



校外治療奉仕

数年ぶりに、地域の方（9月15日）や高知県教育委員会（10月26日）の皆さんを対象に保健医療科3年生、専攻科理療科2・3年生が治療奉仕を行いました。

患者さんの確保には、民生委員さんに

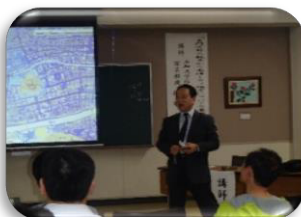
お世話になりましたが、地域の皆さんとのつながりの面では意義があったように思います。また、教育委員会では、施術後のアンケートに具体的で教育的なご意見をいただくことで、今後の参考となりました。ご協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

想定外の想定を！

9月22日（金）に地震に関する専門家である高知大学防災推進センターの岡村先生をお招きし、南海トラフ地震対策について研修を行いました。

先生からは、「県が想定している以上に最悪のことを考えておく必要がある」との助言をいただきました。現に県の想定では本校（学校）は、津波の浸水域に該当していませんが、先生からは高知市内は約2m地盤沈下することから、津波の心配をする必要がある。また、避難場所をグラウンドに設定しているが、今まで起こった地震で校舎が倒壊した例はなく、校内に残っても良いのではないかと。地震の揺れが1分続くと必ず津波が必ず来るなど、新しい情報を得ることができました。

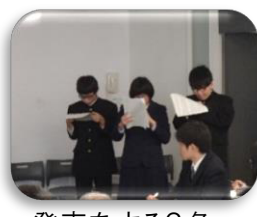
今後は、先生からいただいた情報を基に「想定外」の想定をした南海トラフ地震対策マニュアルの見直しを行い、防災に努めていきたいと思います。



高知県高校生津波サミット参加！

12月16日（土）に「高知県高校生津波サミット」が県立大学他で開催され、特別支援学校では唯一、盲学校が参加し、取り組みの発表を行いました。

発表内容は、災害時における視覚障害者の困り感についてのアンケートを実施し、その



発表をする3名



決意表明をする浅野くん

困り感に対する支援方法について、手引きや位置関係を示すクロックポジション等についてA4用紙一枚にまとめたチラシを作成し、視覚障害者に対する支援を呼びかけるものでした。

他校の生徒からは「障害者＝肢体不自由」という考えはあつたが、目の不自由な人のことは考えてなかったなどの意見が出され、今回のサミットへの参加をしたことで、少しでも視覚障害者について理解啓発ができたのではないかと思います。

浅野 拓朗（高等部普通科3年）

「高知県高校生津波サミット」に参加し、他校の生徒と交流できたことが良かったです。

盲学校は他校との交流が普段あまりないので、今回、いろいろな学校の意見を聞いて、防災について考え方を深めることができました。

盲学校の発表を聞いた人たちが、視覚障害者の防災について考えるきっかけになったこともうれしく思います。

山本 麻琴（高等部普通科2年）

他校の発表を聞いて思ったことは、南海トラフ地震への対策として私たちには想像のできない、思い浮かばない取り組みがされていることが分かりました。また、アイデアを考えたり、地域を巻き込んだ対策を行うなど、高校生にもできることがいっぱいあることを感じました。

今回、発表することにより盲学校のことを少しでも理解してもらえたサミットだったと思います。

長山 輝（高等部普通科1年）

津波サミットに参加して、他校の取り組みを聞くことで、今後の南海トラフ地震対策への参考となりました。また、発表の時には映像や分かりやすいスライドを使うなど、発表方法も大変参考になりました。

児童・生徒の活躍

2017ひまわりのせいくらべ
ぼくのせより高いで賞

田村 瑛祐（中学部1年）

平成29年度高知県唱歌コンクール
「小学5・6年生の部」

優秀賞 石建 美琴（小学部5年）

優良賞 高橋 星風（小学部5年）

「小学1年～4年の部」

優秀賞 末松 煌崇（小学部3年）

平成29年度人権作文コンテスト

高知県大会

入選・奨励賞 山本 麻琴（高等部2年）

第38回四国盲学校文化祭

「演技の部」

天使の歌声賞（小学部）

「展示作品の部」

立休 最優秀賞 田村 瑛祐（中学部1年）

絵画 優秀賞 伊與田 萌（専攻科1年）

書 優秀賞 末松 煌崇（小学部1年）

第21回スピリットアート

（高知県障害者美術展）

絵画 入選 笠松 義樹（高等部1年）

入選 伊與田 萌（専攻科1年）

工芸 入選 山中 啓嗣（保健医療科3年）

入選 都築 綾子（専攻科2年）

お知らせ

2月18日（日）に開催される高知龍馬マラソンのスタッフ等の駐車場として、本校の駐車場を使用します。

早朝（4:30 頃）より夕方（19:00 頃）遅くまで、多くの車両が進入するため、付近にお住まいの皆様にはご迷惑をお掛けすることと思いますが、何卒ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

